

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	みつばち加神アフタースクール		
○保護者評価実施期間	R7年3月 18 日 ～ R7年3 月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	R7年3月 18 日 ～ R7年3 月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 4 月 29日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者や利用者のニーズの読み取りや、個々へのサポート、いま必要な支援を迅速に様々なパターンで提供している。 (不登校支援、登校支援など。利用者には無報酬で提供している。)	子どもや家庭の状況から、今起こっている問題や、欲しているものをくみ取りながら、日々の変化を感じ取っている。 また、いま必要な支援が不要になったときは速やかに次のステップへ引き継ぐとともに、自所内だけにとどまらず必要な機関につなげている。	全ての職員と情報共有を行い、全職員が同じ支援ができるようにしていく。 日々の利用者や保護者の笑顔を大切に、細かな変化を見逃すことなく対応に努める。
2	学校や行政、基幹センターなどとの連携が強い。	自所や一人の思考や判断だけでなく、立場の違う観点や専門的な見解を聞きながら、広い視点を持った支援を心掛けている。 すべては利用者や保護者の最善の利益のために、連携を行っている。	教えを乞う、拝聴する気持ちで広く専門的見解を聞いていく。 また、守るべき情報やこちらの的確な主張もしっかりと確保する。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者間交流や、就学全の通園機関との連携、仲良しクラブなどの交流などが弱い。	保護者間交流に関しては、コロナ前までは行ってきたがコロナになりできていなかった。 就学全の通園機関などは、保護者の希望があったのみにっていた。	保護者交流は今年度より様々な企画を再開予定。 市の部会などで、仲良しクラブの参加も始まったため、今後つながりを強くしていく。
2			
3			